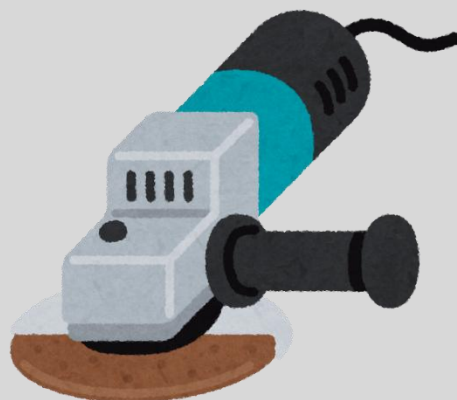


3. 地域連携部門



3.1 地域連携部門の活動報告

当センター発足当初から、北海道地区を中心とする小・中・高校へ出前講義・模擬講義を積極的に行うことや、地域企業への技術・研究活動の宣伝、研修会を通して地域への技術・研究の知的情報発信を行ってきた。

2024 年度は、地域向けものづくり教室、テクノカフェ、出前講義や出前ものづくり教室を行った。

地域向けものづくり教室

「ものづくりのまち」室蘭にある室蘭工業大学は、工科系大学として近隣の小中高校との交流、地元企業・機関などとの連携や市民とのふれあいなど、学外活動にも活動範囲を広げている。次世代のものづくりを担う人材育成を行うには、小・中学生の早い段階でもものづくりの楽しさや達成感を味わう機会を多く経験させることで科学技術やものづくりに興味を持った子供たちが工科系大学へ進学することが重要なことであり、本学のものづくり基盤センターが展開する地域向けものづくり体験教室の参加者が、年間 500 人程と多くいるため益々向上している。また、リピーターの比率も多いことから高い関心が得られていることがわかる。さらに地域貢献に努めることにしており、今後もこの取り組みには期待が出来る。

ものづくり体験教室は、学校の授業と実際のものづくりがどの様に結びつくかなどわかりやすく伝え、子供達に理系の面白さともものづくりの楽しさを体感し知ってもらうことを目的としている。地域の小・中・高校生をはじめ、PTA、教職員、企業の方々など老若男女が幅広く参加できる。ものづくり体験教室の主なラインナップは、オリジナルキーホルダー制作、オリジナル文鎮制作など様々な体験内容を用意している。今年度も、北海道の 179 市町村のシンボルマークであるカントリーサインを型に用いての文鎮制作、オリジナルキーホルダー制作を行い、参加者から高い評価をいただいている。

ものづくり体験教室では、平成 18 年 1 月のセンター開設以来、参加者が増えて、これまでの累計で約 2 万人となっている。図 1 は、全道におけるものづくり体験教室に参加した人数と場所を示したグラフである。室蘭市を中心に札幌市やその他、児童・生徒数が少ない教育中心都市部から遠距離地域の児童に対してもものづくり教室を行っている。

2024 年度に開催したものづくり体験教室の様子を図 2～3 に示す。今年度は、室蘭市内の小学校 4 校（みなと小学校 4 年生、白蘭小学校 6 年生、蘭北小学校 3 年生、天神小学校 6 年生）、中学校 2 校（室蘭西中学校 1 年生、本室蘭中学校 2 年生）、高等学校 1 校（室蘭工業高等学校）の計 7 校を対象に、ものづくり教室を実施した。

このほか、さまざまな地域で出前講義や出前ものづくり教室も実施した。北海道内では、旭川工業高等専門学校、大樹小学校、大樹中学校、大樹高等学校、帯広三条高等学校、藻岩高等学校にて行い、道外では青森県（六ヶ所村高等学校）、島根県（松江南高等学校、隠岐島前高等学校、松江工業高等専門学校、阿井小学校、仁多中学校）、沖縄県（宮古島：南小学校、福嶺小学校、鏡原小学校、宮古高等学校／伊良部島：中一貫校・結の橋学園（伊良部島小学校）／多良間島：多良間小学校・多良間中学校）にて実施した。

図 2 は「とましんこどもものづくり教室（苫小牧信用金庫との連携事業）」での体験の様子である。北海道ではお馴染みの市町村マークであるカントリーサインを型とし、砂型を製作してホワイトメタルを流し込むことで、ペーパーウェイト（文鎮）を製作した。

図 3 は室蘭工業高等学校における鑄造実習の様子を示す。鑄造を学ぶことを通して、ものづくりへの関心を高め、体験を重ねながらその魅力を発見し、将来的に鑄造分野への就職選択の一助となることを期待している。

今後も地域貢献の一環として、「ものづくり体験教室」の活動を可能な限り継続していきたいと考えている。

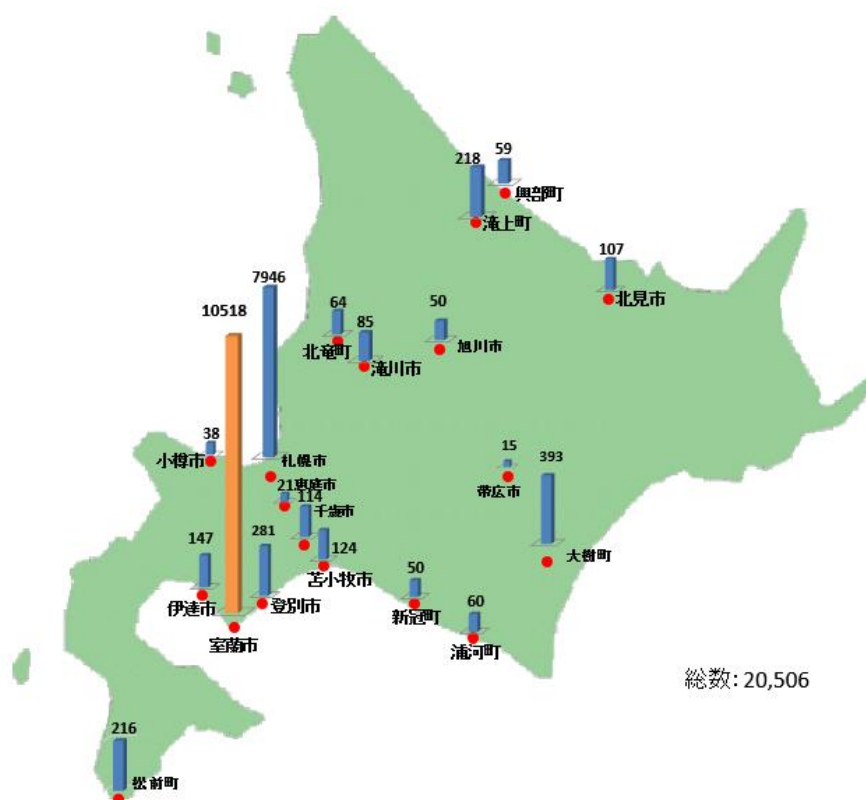


図 1 ものづくり教室 開催地域及び参加者数（平成 20 年～現在）



図 2 とましんこどもものづくり教室(苫小牧信用金庫との連携事業)



図 3 室蘭工業高等学校における鋳造実習の様子